

企画総務委員会 送付6-24

ガザ地区の人命保護および即時停戦を求める決議を求める陳情

受付年月日 令和6年5月14日

陳情者 提出者 1名

陳情書

2024年5月8日

千代田区議会議長 様

(陳情者)住所:

氏名:

電話

1 件名

ガザ地区の人命保護および即時停戦を求める決議を求める陳情

2 陳情の趣旨・理由

パレスチナのガザ地区は、長さ50km幅5-8kmほどの細長い土地に約200万人が住む、世界でもっとも人口密度が高い場所の一つです。高さ8mにもなる壁でイスラエル軍に完全包囲され、人や物の出入りが厳しく制限されているため、燃料や食料日用品、衣料品などが慢性的に不足し、人々は国連や支援団体からの援助物資で命をつないでいます。

2023年10月7日のハマスによるイスラエルへの大規模攻撃および人質事件に対して、イスラエルによる報復措置が始まりました。これは、一般市民という定義を無視し、国際人道法のあらゆる基準(病院や学校は攻撃しないなど)を無視した形で現在も続いており、すでに33,000人以上が犠牲になり、このうち14,000人が子供という異常な状況です。

今年1月26日、国際司法裁判所(ICJ)は、ガザ地区においてジェノサイドが進行している可能性を認識し、パレスチナ人に対してジェノサイド条約によって保護されるべき権利があると指摘しました。しかし、その後も犠牲者の数は増える一方で、難民のさらなる迫害が発生しています。2月初旬に期待された停戦も合意されず、出国が認められなかったり、人道支援ルートもほぼ閉鎖されている上に、食糧支援トラックが爆破されたり、支援を待つ人の群れへの攻撃も行われるなどして、人口の7割以上が壊滅的なレベルの飢餓に苦しんでいます。この4月5日には人道支援活動を行っていた慈善団体「ワールドセントラルキッチン(WCK)」の職員7人がイスラエル軍による空爆で殺害されました。

双方の自衛権の尊重や人質の早期解放、長期的な政治的な解決はもちろんですが、今すぐ一般市民の犠牲を止めるべく、停戦の呼びかけ、負傷者や難民の救済は、道徳的義務として必然であると思います。パレスチナとイスラエルの長きにわたる争いに簡単に口出しすることはできませんが、先に述べたような戦況は、ヒトラー率いるナチスが行ったユダヤ人絶滅と何ら変わらないジェノサイドであり、民族浄化であり、世界でも停戦を求める声が高まっています。国内でも、290を超える地方議会が停戦を求める決議を採択していることから、貴議会においても同様に決議をお願いしたく存じます。

(陳情事項)

「ガザ地区に平和を求める」世界各国の都市や議会、日本の地方議会とともに貴議会においても「ガザ地区における人命保護と即時停戦を求める決議」をお願いします。



恒久的停戦とアパルトヘイトの終結を求め、地方議会から声をあげて下さい。

245の地方議会が 停戦を求めて

決議/意見書を採決しています。

地方議会

から
声
を!

パレスチナでの即時停戦を 求める決議or意見書を 採択した地方議会

(3月15時点 245 / 1788)

 都道府県議会
 市町村議会
赤い字 NEW!

【中国】

- 島根県
- 島根県浜田市
- 島根県大田市
- 島根県江津市
- 島根県松江市
- 島根県吉賀町
- 広島県三次市
- 広島県福山市
- 広島県
- 広島県庄原市
- 広島県広島市

- 鳥取県岩美町
- 鳥取県北栄町
- 鳥取県
- 鳥取県境港市
- 鳥取県湯梨浜町
- 鳥取県米子市
- 鳥取県鳥取市
- 鳥取県南部町
- 鳥取県日南町
- 鳥取県倉吉市

【九州】

- 福岡県北九州市
- 福岡県飯塚市
- 福岡県中間市
- 福岡県福岡市
- 福岡県筑紫野市
- 宮崎県宮崎市
- 鹿児島県伊佐市
- 熊本県山都町
- 熊本県熊本市
- 熊本県菊陽町
- 愛媛県内子町
- 愛媛県
- 愛媛県松山市
- 香川県
- 沖縄県石垣市
- 沖縄県
- 沖縄県西原町
- 沖縄県宜野湾市
- 沖縄県与那原町
- 沖縄県浦添市
- 沖縄県那覇市
- 沖縄県名護市
- 沖縄県宮古島市
- 沖縄県豊見城市

【近畿】

- 滋賀県甲賀市
- 滋賀県草津市
- 滋賀県彦根市
- 滋賀県栗東市
- 滋賀県日野町
- 滋賀県大津市
- 京都府京都市
- 京都府綾部市
- 京都府与謝野町
- 京都府長岡京市
- 京都府亀岡市
- 京都府精華町
- 京都府京丹後市
- 京都府和束町
- 奈良県河合町
- 奈良県平群町
- 大阪府枚方市
- 大阪府高槻市
- 大阪府茨木市
- 大阪府摂津市
- 大阪府忠岡町
- 大阪府松原市
- 大阪府吹田市
- 大阪府岬町
- 大阪府池田市
- 兵庫県西脇市
- 兵庫県淡路市
- 兵庫県神戸市
- 三重県
- 三重県菟野町
- 三重県東員町

【中部】

- 長野県
- 長野県須坂市
- 長野県下諏訪町
- 長野県中野市
- 長野県諏訪市
- 長野県茅野市
- 長野県伊那市
- 長野県木曾町
- 長野県松本市
- 長野県佐久市
- 長野県駒ヶ根市
- 長野県小諸市
- 長野県飯山市
- 長野県安曇野市
- 長野県宮田村
- 長野県辰野町
- 長野県南木曾町
- 長野県大森村
- 長野県木祖村
- 長野県野沢温泉村
- 長野県箕輪町
- 長野県山ノ内町
- 長野県飯島町
- 長野県塩尻市
- 長野県上田市
- 愛知県
- 愛知県大府市
- 愛知県春日井市
- 富山県
- 富山県富山市
- 富山県小矢部市
- 岐阜県岐阜市
- 岐阜県郡上市
- 山梨県山中湖村
- 山梨県甲州市
- 静岡県静岡市
- 静岡県焼津市
- 静岡県伊東市
- 静岡県伊豆の国市
- 静岡県藤枝市
- 静岡県下田市

【四国】

- 高知県南国市
- 高知県いの町
- 高知県香美市
- 高知県
- 高知県香南市
- 高知県四万十市
- 高知県高知市
- 高知県仁淀川町
- 高知県土佐町

【北海道】

- 北海道旭川市
- 北海道森町
- 北海道北広島市
- 北海道美幌町
- 北海道室蘭市
- 北海道釧路市
- 北海道足寄町
- 北海道倶知安町
- 北海道八雲町
- 北海道芦別市
- 北海道標茶町
- 北海道帯広市
- 北海道網走市
- 北海道苫小牧市
- 北海道小樽市
- 北海道安平町
- 北海道仁木町
- 北海道江別市
- 北海道幕別町

【東北】

- 岩手県
- 岩手県盛岡市
- 岩手県平泉町
- 岩手県花巻市
- 岩手県矢巾町
- 岩手県八幡平市
- 岩手県紫波町
- 福島県福島市
- 福島県南相馬市
- 福島県
- 福島県須賀川市
- 福島県桑折町
- 秋田県
- 山形県鶴岡市
- 岩手県岩泉町
- 岩手県軽米町
- 岩手県一関市
- 岩手県西和賀町
- 岩手県宮古市
- 岩手県二戸市
- 宮城県
- 宮城県大崎市
- 宮城県栗原市
- 宮城県仙台市

【関東】

- 栃木県宇都宮市
- 群馬県沼田市
- 群馬県嬬恋村
- 千葉県八街市
- 千葉県流山市
- 千葉県習志野市
- 埼玉県三芳町
- 埼玉県新座市
- 埼玉県伊奈町
- 埼玉県春日部市
- 埼玉県八潮市
- 埼玉県富士見市
- 埼玉県久喜市
- 埼玉県北本市
- 埼玉県上里町
- 埼玉県上尾市
- 神奈川県座間市
- 神奈川県横浜市
- 神奈川県鎌倉市
- 神奈川県葉山町
- 神奈川県大和市
- 神奈川県横須賀市
- 神奈川県二宮町
- 神奈川県綾瀬市
- 神奈川県大磯町
- 神奈川県
- 神奈川県藤沢市
- 神奈川県厚木市
- 神奈川県平塚市
- 茨城県つくばみらい市
- 茨城県かすみがうら市
- 茨城県つくば市
- 茨城県利根町
- 茨城県取手市
- 茨城県
- 茨城県結城市
- 茨城県ひたちなか市
- 茨城県東海村
- 東京都清瀬市
- 東京都武蔵村山市
- 東京都品川区
- 東京都目黒市
- 東京都小金井市
- 東京都世田谷区
- 東京都あきる野市
- 東京都江戸川区
- 東京都中野区
- 東京都渋谷区
- 東京都日野市
- 東京都府中市
- 東京都八王子市
- 東京都小笠原村
- 東京都調布市
- 東京都西東京市
- 東京都
- 東京都立川市
- 東京都足立区
- 東京都狛江市
- 東京都多摩市
- 東京都羽村市
- 東京都三鷹市

200万人以上が死の危機に瀕しています

イスラエルの攻撃を「憂慮」するのみでは何も解決しません。日本を含む欧米各国の対応は、無差別に攻撃され、食べ物や水も枯渇して飢え、病気やケガを治療する医療もなく死んでいく200万人のガザのパレスチナ人を見殺しにしています。国際司法裁判所がジェノサイドのもっともらしい理由だと裁判所が認めた行為を、このまま国として見過ごして本当に良いのでしょうか？3/15日現在、ガザ停戦などを求める決議/意見書を採択した地方議会は、245議会にもものぼっています。どうか、パレスチナに連帯する国民の声を形にして下さい。

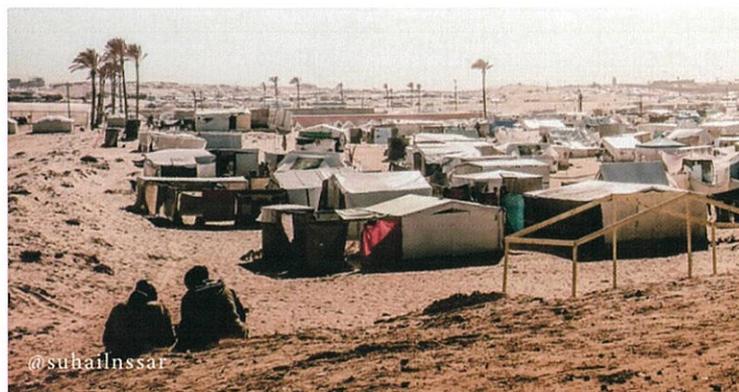


ジェノサイドを黙認せず、歴史の正しい側に立ってください。



ガザの修復は今世紀末までかかる見通し/UNCTAD

停戦を求めるのは、今この瞬間の犠牲のためだけではありません。ガザに住む人々の未来は、毎日に取り返しのつかない状況に陥っています。国際連合貿易開発会議は2024年1月の報告書で、ガザ攻撃が直ちに停止した場合、ガザ経済が10月7日以前の規模を取り戻すのに「今世紀末までかかる可能性がある」と指摘。また、復興費用は現時点で200億ドル程度に達すると試算しています。直ちに恒久的停戦を求め、ガザの人々をこれ以上の絶望に陥れないで下さい。



最南部のラファにはもはや逃げる場所がない

イスラエル軍は北部から激しい空爆を繰り返し、ガザの人々に南部へと追放し続けました。遂に100万人以上の避難者たちは最南部のラファへと押し込まれ、もうガザには逃げ場がありません。ラファへの進軍を非難する国際社会の声を無視し、ネタニヤフ首相は「我々が勝利するまで攻撃をやめない」と主張しました。無実の民間人を故意に追い詰め虐殺する行為は、国際司法裁判所による暫定措置命令に背くものであり、断じて容認すべきではありません。



支援届かず飢餓は深刻 WFPも食料輸送を停止に

ガザへの支援トラックはイスラエル軍によって入国を厳しく制限されている上、国連ワールドフードプログラム(WFP)は、大量飢餓と社会秩序の崩壊による混乱のため「安全保障上の懸念」があるとして、ガザ北部への援助配達を一時停止しました。今、ガザの2歳未満の子供の15%が栄養失調に陥っており、人々は飢えをしのぐために動物の餌や植物を食べています。日本はパレスチナ難民の命綱とも言えるUNRWAの支援拠出停止を撤回し、直ちに人道支援を再開すべきです。



憂慮で人命は救えない 実行性のある経済制裁を

イスラエルの非人道的な大量虐殺に対し、これまで日本政府は明確に非難することなく、国内外で消極的な姿勢を貫いています。ジェノサイドと言って差し支えないイスラエルの残虐な殺戮行為を遠い場所から「懸念」してばかりでは、ガザは殲滅を免れません。日本政府は毅然とした態度でイスラエルを非難すべきであり、投資協定や協力覚書の破棄・駐日イスラエル大使の追放など、具体的かつ実効性のある経済制裁を直ちにイスラエルに課すべきです。

パレスチナを知る キーワード

宗教？民族？国境？

パレスチナで起きていることは、イスラム教徒とユダヤ教徒の問題ではない。

パレスチナにはイスラム教徒、キリスト教徒、サマリア人、どの宗教も信仰しない人など、多様な人が住んでいる。

ユダヤ人、あるいはイスラエル人で、パレスチナ占領に反対している人もいる。

対等な二つの国が国境を争っているわけではない。

2023年10月7日以降

2024年1月23日 OCHA参照

ガザ

死者 25,490人*

けが人 63,354人

*Save the Childrenによると、死者のうちこどもは10,000人以上

- ・行方不明者（がれきの下敷きなど）多数
- ・170万人（人口の75%）が避難生活中

ヨルダン川西岸地区

死者 360人（こども92人）

けが人 4,348人（こども656人）

数十人単位の親族全員が殺されたケースもある。ひとりひとりに家族や友だち、コミュニティがあることを考えれば、精神的ダメージを負っている人の数は計り知れません。

でも、できごとは10月7日に始まったわけではありません。パレスチナ人は何十年も迫害され人権を奪われてきました。

パレスチナ

音楽、文学、建築など、多彩な文化と資源がある地域。食べものでは、オリーブ、ホンモス、ファラフェル、マクルーベなど。オリーブの木はなくてはならないもので、樹齢何百年ものオリーブの実から、オイル、ピクルス、石鹸などを作る。

1916年 サイクス=ピコ協定

オスマン帝国下にあったパレスチナを含む中東地域をイギリス領とフランス領に分割するという、イギリス、フランス、ロシアの協定。

パレスチナと難民

西岸地区、ガザ、周辺国に住む多くのパレスチナ人には国籍がない。多くのパレスチナ人が1948年、1967年、またそれ以後も住んでいた場所を追われ、難民となっている。

パレスチナ人 全世界に1300万人

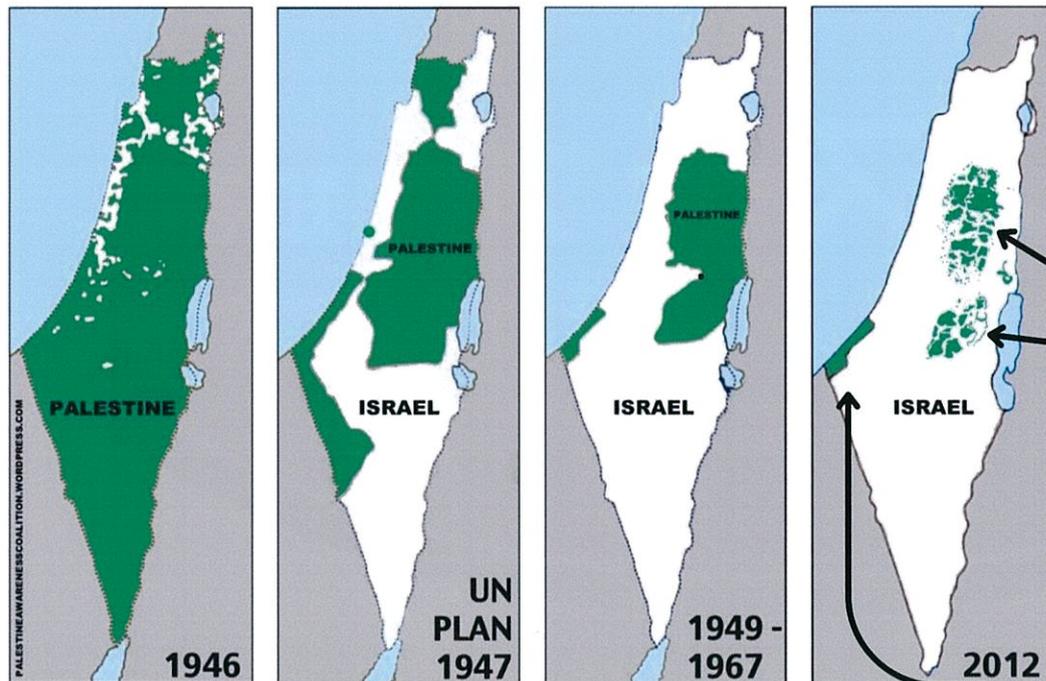
- ・西岸地区300万人 ・ガザ220万人
- ・国外難民（ヨルダン、レバノン、シリアなど）400万人

・イスラエルに暮らすパレスチナ人160万人（イスラエル国籍を持つが、多くはイスラエル社会で差別されている）

ナクバ Nakba

1947年～1949年、第一次中東戦争。1948年、イスラエルの建国。シオニスト民兵によりパレスチナ人75万人が家々を追われ、町村を破壊された。外出していて自宅に帰れなくなった人たちも多く、かれらが自宅の鍵を持ったまま難民となったことから、鍵はパレスチナ人のシンボルでもある。

この戦争で、イスラエルはパレスチナの土地78%を取得。ガザはエジプトの支配下になり、1950年西岸地区はヨルダンに併合された。



占領 Occupation

1967年、第三次中東戦争後、イスラエルは西岸地区とガザを占領し、今も占領が続いている。

西岸地区 West Bank

西岸地区は入植地やイスラエル人専用の道路、分離壁で分断され、別の街や村に行くには検問所を通らなければいけない。

通勤や通学のために早朝から検問所に並ぶこともある。兵士に嫌がらせをされたり、通過が許可されないこともある。

イスラエル軍による民家や難民キャンプの急襲も続いている。

第一次インティファダ

1987年から1993年に起こったパレスチナ人による占領に対する民衆蜂起。1993年のオスロ合意で終結し、パレスチナ自治政府（PA）が誕生。

入植地 入植者による暴力

入植地とは、パレスチナ人の土地に作られたイスラエル人だけが住むことができる軍事化された町や都市のこと。国際法違反。一部の入植者は非常に暴力的な思想を持っている。入植者たちは、パレスチナ人の大切なオリーブの木を根こそぎにしたり、発砲したり、家などに火をつけたりする。イスラエル軍は入植者たちを逮捕するのではなく、むしろ護衛し、イスラエルの領土を不法に拡げている。

第二次インティファダ

2000年～2005年（終結時は係争中）。オスロ合意後も続いた占領と入植に対する民衆蜂起。2005年のパレスチナ総選挙につながる。選挙では占領の終結を訴えるハマスが勝利するが、列強はこれを認めずにハマスをテロ組織とみなし、西岸地区の自治政府として認めなかった。

オスロ合意

1993年/1995年に米国、ヨーロッパ主導で行われたオスロ合意（パレスチナ国を5年以内に建国する）は実現しなかった。日本政府もこの合意に関与した。

ガザ 包囲・封鎖 Gaza Siege

選挙に基づきガザの自治をハマスが行うことになったが、その結果として、ガザは2007年からイスラエル軍に包囲されている。ガザの人口の約半数は子ども。当然のことながらガザ市民全員がハマスを支持しているわけではなく、包囲は集団的懲罰と言える。ガザに暮らすパレスチナ人は自由にガザから出入りすることができない。ガザの80%はほかの地域を追われてきた国内難民。非常に人口密度が高い。

2023年10月7日以前においても、失業率40%、電力の供給はイスラエルに管理されており、1日4時間のこともあった。

もっと知る

本
イラン・パペ『パレスチナの民族浄化: イスラエル建国の暴力』
サラ・ロイ『ホロコーストからガザへ パレスチナの政治経済学』
ガッサーン カナファーニー『ハイファに戻って/太陽の男たち』

動画
●ガザを知る緊急セミナー「ガザ 人間の恥としての」
2023.10.23.
●D2021×CLP「ガザで一体何が起きているか - 民族浄化とは何か -」
2023.12.6.

Instagram

日本語 ●palestine.in.japanese

●palestinejpn ●omou_palestine

英語 ●aljazeeraenglish ●eye.on.palestine

●wizard_bisan1 ●motaz_azaiza

*このフライヤー（パレスチナを知るキーワード）について↑



虐殺を止めるために、あなたの力が必要です

日本政府はイスラエルを非難することなく、連帯を示しながら多額の資金提供をすることで、イスラエルによるパレスチナ人の大量虐殺を許しています。私たち国民は、断固としてイスラエルの行っているジェノサイド行為に対し反対の意思を示すと共に、日本政府に向け、以下のことを求める権利と責任があります。



恒久的即時停戦



イスラエルによる
軍事占領の終結



イスラエルに対する
経済的支援の停止



イスラエルに対する
具体的な経済制裁

スマホで出来るアクション！意見フォームに意見しよう

- 名前、住所、メールアドレスなどの個人情報の記入は不要です
- 「即時停戦を求めます」など短いメッセージでも大丈夫です
- QRコードをスキャンすると意見フォームにアクセス出来ます



首相官邸



外務省



FAXアクションも推奨！スマホ、コンビニから出来ます

FAXで政府に意見を届けるアクションも推奨されています。ご自宅でスマホから送信できる「ポケFAX」がおすすめ。操作もカンタンです。コンビニに設置されているマルチコピー機でも送信が可能です。ご自身で書くのが苦手な方は右のQRコードからテンプレートをダウンロード出来ますのでご利用ください。



岸田首相 国会事務所FAX
03-3591-3118



上川外相 国会事務所FAX
03-3508-3290

FAXテンプレ



スマホで簡単操作！一日一枚無料で送れるポケFAXが便利

ポケFAX



ジェノサイドを黙認せず、歴史の正しい側に立ってください。



ガザの修復は今世紀末までかかる見通し/UNCTAD

停戦を求めるのは、今この瞬間の犠牲のためだけではありません。ガザに住む人々の未来は、毎日に取り返しのつかない状況に陥っています。国際連合貿易開発会議は2024年1月の報告書で、ガザ攻撃が直ちに停止した場合、ガザ経済が10月7日以前の規模を取り戻すのに「今世紀末までかかる可能性がある」と指摘。また、復興費用は現時点で200億ドル程度に達すると試算しています。直ちに恒久的停戦を求め、ガザの人々をこれ以上の絶望に陥れないで下さい。

支援届かず飢餓は深刻 WFPも食料輸送を停止に

ガザへの支援トラックはイスラエル軍によって入国を厳しく制限されている上、国連ワールドフードプログラム(WFP)は、大量飢餓と社会秩序の崩壊による混乱のため「安全保障上の懸念」があるとして、ガザ北部への援助配達を一時停止しました。今、ガザの2歳未満の子供の15%が栄養失調に陥っており、人々は飢えをしのぐために動物の餌や植物を食べています。日本はパレスチナ難民の命綱とも言えるUNRWAの支援拠出停止を撤回し、直ちに人道支援を再開すべきです。



最南部のラファにはもはや逃げる場所がない

イスラエル軍は北部から激しい空爆を繰り返し、ガザの人々に南部へと追放し続けました。遂に100万人以上の避難者たちは最南部のラファへと押し込まれ、もうガザには逃げ場がありません。ラファへの進軍を非難する国際社会の声を無視し、ネタニヤフ首相は「我々が勝利するまで攻撃をやめない」と主張しました。無実の民間人を故意に追い詰め虐殺する行為は、国際司法裁判所による暫定措置命令に背くものであり、断じて容認すべきではありません。

憂慮で人命は救えない 実行性のある経済制裁を

イスラエルの非人道的な大量虐殺に対し、これまで日本政府は明確に非難することなく、国内外で消極的な姿勢を買っています。ジェノサイドと言って差し支えないイスラエルの残虐な殺戮行為を遠い場所から「懸念」してばかりでは、ガザは殲滅を免れません。日本政府は毅然とした態度でイスラエルを非難すべきであり、投資協定や協力覚書の破棄・駐日イスラエル大使の追放など、具体的かつ実効性のある経済制裁を直ちにイスラエルに課すべきです。

全てを奪われ続けるガザの子供たち。



イスラエルの空爆で、自宅と家族、自分自身の片手と片足をなくしました。これからの生活をサポートしてくれる約束はほとんどないまま、この子は始まったばかりの人生の困難を、一人で生きていかなければいけません。



تصوير محمود بسام

この赤ちゃんは、右手にパンを握りしめたまま空爆で亡くなりました。ガザには今食べるものがありません。人々は動物の餌や植物を食べて飢えをしのいでいます。この子はどんなにかお腹を空かせて、このパンを食べたかったでしょうか。



ガザには新生児のミルクがありません。彼らのお母さんは極度の栄養失調やストレスで母乳が出ません。生まれてすぐに両親がイスラエルの爆撃で亡くなり孤児になった赤ちゃんは今、餓死を逃れることが出来ません。



少女は全身火傷で、直ぐガザを出国して専門病院にかかる必要がありますが、申請が通る確約はありません。家族は皆死にましたが、彼女だけが生き残りました。世界は彼女に向かって「幸運だったね」と言うのでしょうか。



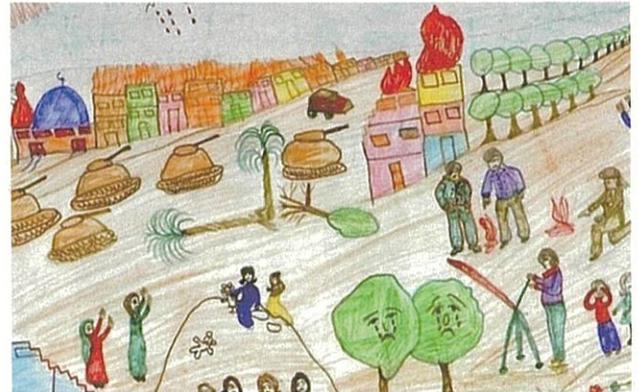
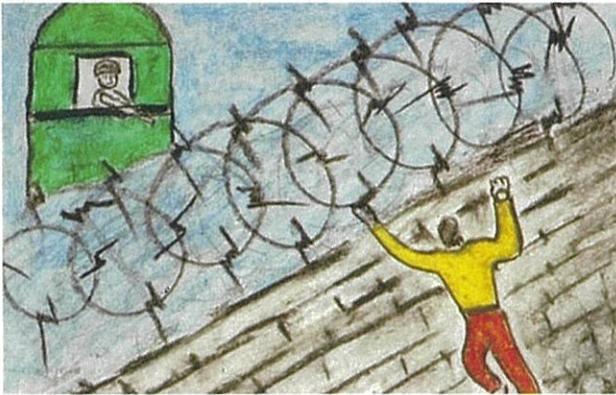
ガザ侵攻が始まってから、恐ろしい環境の中でこの世に誕生した子供たちがいます。それから一ヶ月も経たぬうちに、空に帰る子供たちも。この子供たちは何のために生まれたのか？ただ、苦しむための短い生涯でした。



この愚かな行為をしているのはイスラエル政府であり、アメリカ政府ですが、日本政府はこの行為を積極的に幫助しています。私たち国民は、この行為を決して容認したくありません。決して手を貸したくもありません。

ガザの子供たちが描いた絵。

この絵が内包している子供たちの深い悲しみや出口のない混乱が、伝わりますか。



軍事占領下で生きる子供達は、壮絶な悲しみと孤独、ストレスにさらされ、癒されることのない傷を抱えています。この絵は、ガザの子供たちが経験した恐怖に対処するための取り組みの一環として描かれたものでした。この絵はカリフォルニアの子供美術館で展示されるはずでしたが、イーストベイのユダヤ人連盟やその他の組織から圧力がかかり、最終的に展示は実現されなかったそうです。ガザの子供たちは、創作することで心を癒したり解放したりすることさえ、世界から制限されたり抑圧されたりしています。これはとても悲しい現実です。

国境なき医師団の事務総長は「ガザの子供たちは、度重なる避難と疲労、絶え間ない恐怖がある。家族が目の前で殺され、肉体をバラバラにされるのを目撃している。これらの精神的傷害により、ガザにいる5歳の幼い子供たちが一様に「死にたい」と言うようになった」と報告しています。

また、ガザでの5週間の滞在から帰国した国境なき医師団の緊急コーディネーターは「この子供たちの将来のことを考えると言葉を失います。何世代にもわたって障害を負い、トラウマを負うのは子供たちです。メンタルヘルスプログラムで彼らは、今ガザに住み続けるくらいなら死んだほうがマシだ、と言いました」と語っています。